

## 特別企画: 飲食店の倒産動向調査(2017年度)

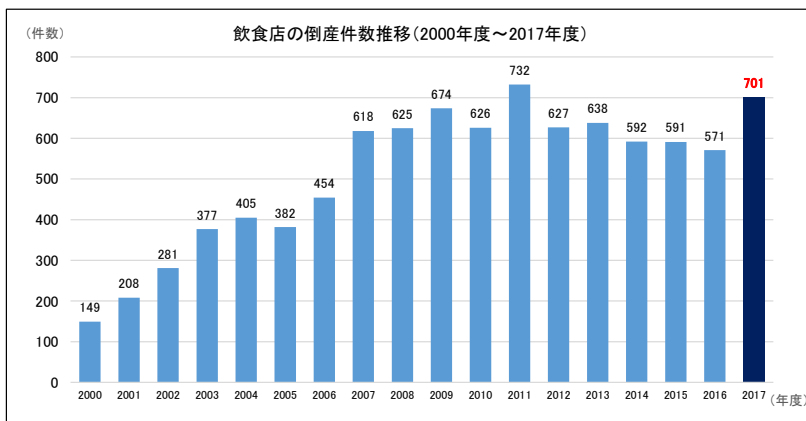
# 過去 2 番目の高水準

## ～中華料理店・西洋料理店は過去最多～

## 調査結果 (要旨)

- 2017年度(2017年4月～2018年3月)の飲食店の倒産(※)は701件となり、4年ぶりに前年度比増加(+130件、22.8%増)。これまで最多だった2011年度(732件)に次ぐ、過去2番目の高水準となった。負債総額は334億100万円となり、前年度比44億6600万円増加(15.4%増)となった
- 701件を業態別にみると、件数は全ての業態で前年度を上回った。件数の上位は、居酒屋や焼鳥屋、おでん、もつ焼屋、ダイニングバーなどを含む「酒場・ビヤホール」で132件(構成比18.8%)。「中華料理店・その他の東洋料理店」(110件)と「西洋料理店」(78件)は過去最多。態様別では「破産」が669件(同95.4%)。都道府県別では「東京都」が116件(同16.5%)で上位となり、前年度比では「大阪府」が+22件で最も増えた

※ 飲食事業を主業とする事業者(法人・個人事業者)で、負債1000万円以上・法的整理のみを対象



## 都道府県別上位

都道府県	件数	前年度比(件数)	負債総額(百万円)
東京都	116	13	8,756
大阪府	114	22	3,067
兵庫県	59	13	1,097
愛知県	58	5	2,043
神奈川県	34	3	1,418
京都府	32	11	1,086
北海道	24	9	1,356
広島県	24	12	1,192
福岡県	24	6	1,824
埼玉県	19	5	924

業態	件数			負債総額(百万円)		倒産態様			法人または個人			
	2016年度	2017年度		2016年度	2017年度	破産	民事再生	特別清算	法人	個人		
	増減(件)	増減(件)	構成比									
酒場・ビヤホール	111	△ 2	132	21	18.8%	4,854	5,600	127	3	2	78	54
中華料理店・その他の東洋料理店	88	△ 9	110	22	15.7%	6,180	4,334	105	3	2	74	36
西洋料理店	70	11	78	8	11.1%	3,994	7,264	76	2	0	54	24
バー・キャバレーなど	49	3	76	27	10.8%	821	1,991	71	4	1	19	57
一般食堂	63	7	70	7	10.0%	2,404	4,095	65	3	2	41	29
日本料理店	64	23	69	5	9.8%	2,864	3,589	64	3	2	46	23
喫茶店	47	△ 5	61	14	8.7%	4,500	1,449	59	0	2	32	29
すし店	23	△ 6	25	2	3.6%	1,606	751	25	0	0	15	10
そば・うどん店	15	△ 12	19	4	2.7%	435	668	18	1	0	11	8
料亭	7	△ 2	9	2	1.3%	175	711	9	0	0	6	3
その他の一般飲食店	34	△ 28	52	18	7.4%	1,102	2,949	50	2	0	35	17
合計	571	△ 20	701	130	100.0%	28,935	33,401	669	21	11	411	290

**【内容に関する問い合わせ先】**

（株）帝国データバンク 東京支社情報部

担当：下川 純

TEL 03-5919-9341 FAX 03-5919-9348

当レポートの著作権は（株）帝国データバンクに帰属します。

当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。報道目的以外の利用につきましては、著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。